

保険者機能強化推進交付金等 に係る評価結果について

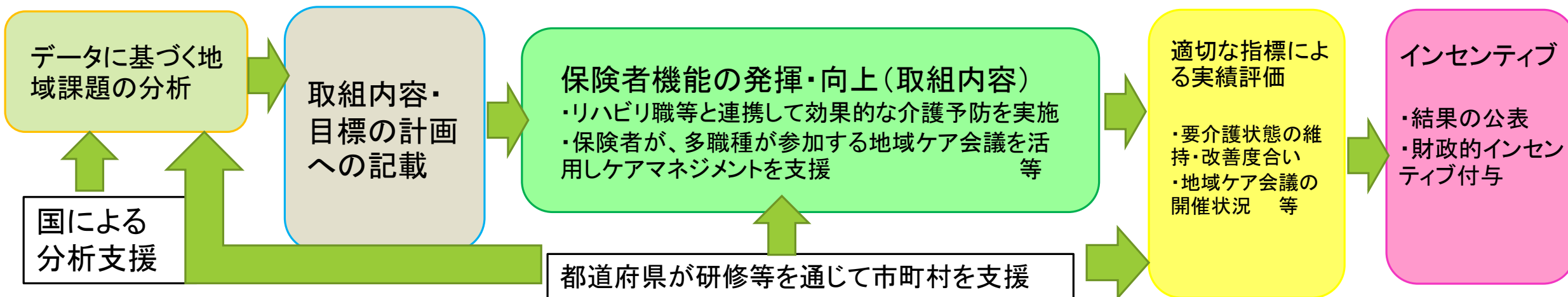
洲本市健康福祉部介護福祉課長寿支援係

令和6年2月

制度の概要

市町村が行う自立支援・重度化防止等に向けた取組みへの支援・一層の推進を目的に、①～⑥の評価指標の達成状況に応じ、国が交付金を交付する制度。

- 【主な指標】
- ①PDCAサイクルの活用による保険者機能強化
 - ②ケアマネジメントの質の向上
 - ③多職種連携による地域ケア会議の活性化
 - ④介護予防の推進
 - ⑤介護給付適正化事業の推進
 - ⑥要介護状態の維持・改善の度合い



評価結果

令和5年度	推進交付金	支援交付金	合計
満点	1,355	830	2,185
洲本市	1,190	690	1,880
県内平均	869.0	492.8	1,361.8
全国平均	742.9	412.9	1,155.9
得点率	87.8%	83.1%	86.0%

令和6年度	推進交付金	支援交付金	合計
満点	400	400	800
洲本市	256	239	495
県内平均	223.0	251.5	474.5
全国平均	205.6	216.7	422.4
県内順位	64.0%	59.8%	61.9%

※推進交付金⇒保険者機能強化推進交付金(H30年度～)・支援交付金⇒介護保険保険者努力支援交付金(R2年度～)

●令和5年度までの評価指標では、体制・取組指標(プロセス指標)が多くを占めていたが、令和6年度の評価指標については、活動指標(中間アウトカム・アウトプット指標)や成果指標(アウトカム指標)が強化されるなど、大幅な見直しがあった。

評価指標の説明(令和6年度)

(i) 体制・取組指標(プロセス指標)

介護予防等を推進していく上で、『①現状分析、②取組の実施、③取組状況の把握、④見直しの必要性の検証等』のプロセスが出来ているかを評価する指標

(ii) 活動指標(中間アウトカム・アウトプット指標)

介護予防等の個々の取組の進捗度合いを評価する指標

(iii) 成果指標(アウトカム指標)

要介護認定率や要介護度の変化率等を評価する指標

(例) 「通いの場の参加者の健康状態等の把握」(体制・取組指標) ⇒ 「通いの場等において心身・認知機能を改善した者の割合」(活動指標) ⇒ 「要介護度の変化率」(成果指標)

令和6年度 得点の詳細

推進交付金 目 標	i 体制・取組指標群				ii 活動指標群			
	洲本市	県平均	全国平均	満点	洲本市	県平均	全国平均	満点
I 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする	64	51.0	46.4	64	9	12.9	9.8	36
II 公正・公平な急を行う体制を構築する	60	48.9	42.4	68	28	12.5	17.5	32
III 介護人材の確保そのたのサービス提供基盤の整備を推進する	52	41.4	33.8	64	3	8.8	7.2	36

支援交付金 目 標	i 体制・取組指標群				ii 活動指標群			
	洲本市	県平均	全国平均	満点	洲本市	県平均	全国平均	満点
I 介護予防/日常生活支援を推進する	52	43.3	31.4	52	24	21.1	20.1	48
II 認知症総合支援を推進する	49	48.8	42.4	64	12	16.0	12.1	36
III 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する	42	56.2	49.8	68	20	18.8	12.8	32

推進交付金・支援交付金共通 目標	iii 成果指標群			
IV 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む	40	47.4	48.6	100

※黄色の部分は、県・全国平均よりも点数が低い指標

令和6年度 評価結果まとめ

- 自立支援・重度化防止にかかる体制・取組指標についてはほぼ達成できている。
- 一方で、活動指標については、全国・県平均を下回る目標もあり、成果指標については、全国・県平均を下回った。